

重 要 記 録

1 新米子市誕生10周年記念事業実施

平成17年3月31日に旧米子市と旧淀江町との合併により新米子市が誕生してから10周年を迎えるにあたり、新たに制定した米子市の歌の普及促進を図る「市の歌普及事業」のほか、「郷土芸能祭」、「篠山紀信展 写真力」、「安野光雅の世界展」、「写真が語る米子の歩み」など15の記念事業を実施した。

2 第二学校給食センター稼動及び中学校給食開始（4月）

4月から第二学校給食センターが稼動し、すべての中学校で給食を開始した。これにより、市内の小学校、中学校及び特別支援学校の児童・生徒、教職員等約14,000人に給食の提供を行っている。

3 GO!!GO!!ヨナゴ商品券を発売（5月から10月）

本市の地域経済の活性化及び消費喚起を図るため、米子市内の商店等で使用できる20%のプレミアムを付した商品券「GO!!GO!!ヨナゴ商品券」を発売した。

商品券は、希望者による申込み方式で抽選により販売した。販売総額は、5億5,000万円。

市内の378店舗で利用され、6億5,846万3千円が換金された。

4 第3次米子市行財政改革大綱、実施計画策定（6月）

次世代につなぐ行財政基盤の確立を目的として、「効率的・効果的な行財政運営の推進」、「持続可能な財政基盤の確立」及び「次代を担う人材の育成と職員の資質向上」を主要な柱と位置付けた第3次行財政改革大綱及び実施計画（平成27年度～平成31年度）を6月に策定した。

5 弓浜コミュニティー広場オープン（7月）

大篠津町において、平成21年から防衛省中国四国防衛局が整備した、弓浜コミュニティー広場が平成27年3月に完成し7月9日にオープンした。人工芝で、主にサッカーやラグビー等の利用ができる第1多目的広場と、グラウンドゴルフ等の利用ができる第2多目的広場があり、11月からは指定管理者による施設管理を行った。

6 米子市・東草市姉妹都市提携20周年記念事業の実施（8月・10月）

8月7日から11日まで、金哲秀（キム・チョルス）東草市副市長を団長とする代表訪日団17名が米子がいな祭に参加し、交流を図った。

また、10月8日から11日まで、米子市長を団長とする代表団6名、米子がいな太鼓保存会11名を東草市に派遣し、姉妹都市提携20周年記念式典において交流協定書^{ソラク}を交わすとともに、「東草市雪嶽文化祭」でがいな太鼓を披露し、友好を深めた。

7 米子がいな創生総合戦略策定（10月）

今後の本市における人口減少や少子化を抑制し、活力を維持していくために、本市の将来人口推計及び2040年・2060年の段階での目標人口と、平成31年度までの5年間で取り組む地方創生の政策・施策をとりまとめた「米子がいな創生総合戦略」を策定した。

なお、総合戦略の推進に当たっては、国の地方創生先行型交付金を活用した16の事業（全額国費）も実施した。

8 米子水鳥公園開園20周年（10月）

平成7年10月22日の開園から20周年を迎え、記念式典を開催した。また、平成17年11月8日に米子水鳥公園を含む中海が、多くの水鳥が生息する貴重な湿地としてラムサール条約湿地に登録され10年の節目の年となった。

米子水鳥公園は、水鳥の観察や環境学習の拠点施設として、これまで延べ63万人の来園者があった。

9 地域おこし協力隊「米子情報局どげな？」オープン（10月）

総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、3大都市圏から移住してきた隊員3人による情報発信拠点兼観光案内所「米子情報局どげな？」が、10月、本市中心市街地DARAZ CREATE BOX内にオープンした。

SNSと本市に根付いてきたポップカルチャーを活用し、移住者視点での本市の魅力をも、主に首都圏を対象に情報発信した。

加えて自主イベントの開催や各種交流事業等への参画、また鳥取県発アニメ「こども刑事めめたん」にも2名の隊員が声優として出演するなど、盛んに活動を行った。

10 米子市皆生市民プールオープン（11月）

11月1日、米子市皆生温泉三丁目の県営米子屋内プールが、新たに市営施設となり、米子市皆生市民プールとしてオープンした。

米子市皆生市民プールは、屋内プールのほか、体育館も備えてあり、市民の健康増進に役立つよう、各種の水泳教室やトランポリン教室などのスポーツ教室を実施している。

11 米子市中心市街地活性化基本計画（新計画）の認定（11月）

前認定基本計画期間終了後、米子市独自の2期米子市中心市街地活性化基本計画を策定し、引き続き中心市街地活性化に取り組んできたが、同計画の一部見直しを行い、10月2日に国へ認定申請し、11月27日に認定を受けた。

計画期間：平成27年12月から平成33年3月まで

12 第3次米子市総合計画（米子いきいきプラン2016）策定（12月）

社会経済状況の変化に即して本市の課題をとらえ直し、これからの社会に対応したまちづくりを推進するため、本市の将来像「生活充実都市・米子」の実現にむけた中長期にわたる今後のまちづくりの指針として、平成37年度までの基本構想と平成32年度までの基本計画を定めた第3次米子市総合計画（米子いきいきプラン2016）を策定した。

1.3 米子市弓浜地域老人福祉センター開所（1月）

平成27年3月から整備していた米子市弓浜地域老人福祉センターが、平成28年1月24日に開所した。高齢者の健康増進、教養の向上等を図るための場として、市内3ヶ所目の設置となった。介護予防のための運動機器を配置した機能訓練室も備えている。

1.4 異常低温災害における出水不良（1月）

1月24日の異常低温（-5.8℃）により、給水管等が多数破損し、漏水による排水量が急激に増加した。これにより、給水圧が低下し、給水区域全域で多数の出水不良が発生したため、災害対策本部を設置し、水道局と連携して給水袋やペットボトル飲料水を配送する等の給水支援を行った。

（被害状況）

水圧低下に伴う影響戸数 約75,000戸

修繕等の受付総戸数 約4,300件

1.5 米子市公共施設等総合管理計画策定（3月）

本市が有する公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、長寿命化・更新・統廃合を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現し、時代に即したまちづくりを推進することを目的に、「米子市公共施設等総合管理計画」を策定した。